

# CTCAEのGradeの定義と解釈

**Grade3のときは、速やかに病院に連絡する**

グレード分類	重症度の説明	対応方法
<b>1</b> Grade 1	軽度の症状がある。 治療を要さない。	
<b>2</b> Grade 2	最小限/局所的/非侵襲的治療を要する。 年齢相応の身の回り以外の日常生活動作*1の制限	<b>介入が必要</b>
<b>3</b> Grade 3	重症または医学的に重大であるが、ただちに生命を脅かすものではない。 入院または入院期間の延長を要する。 身の回りの日常生活動作*2の制限	<b>病院への連絡 受診が必要</b>
<b>4</b> Grade 4	生命を脅かす。 緊急処置を要する。	<b>緊急受診が必要</b>
<b>5</b> Grade 5	副作用による死亡	

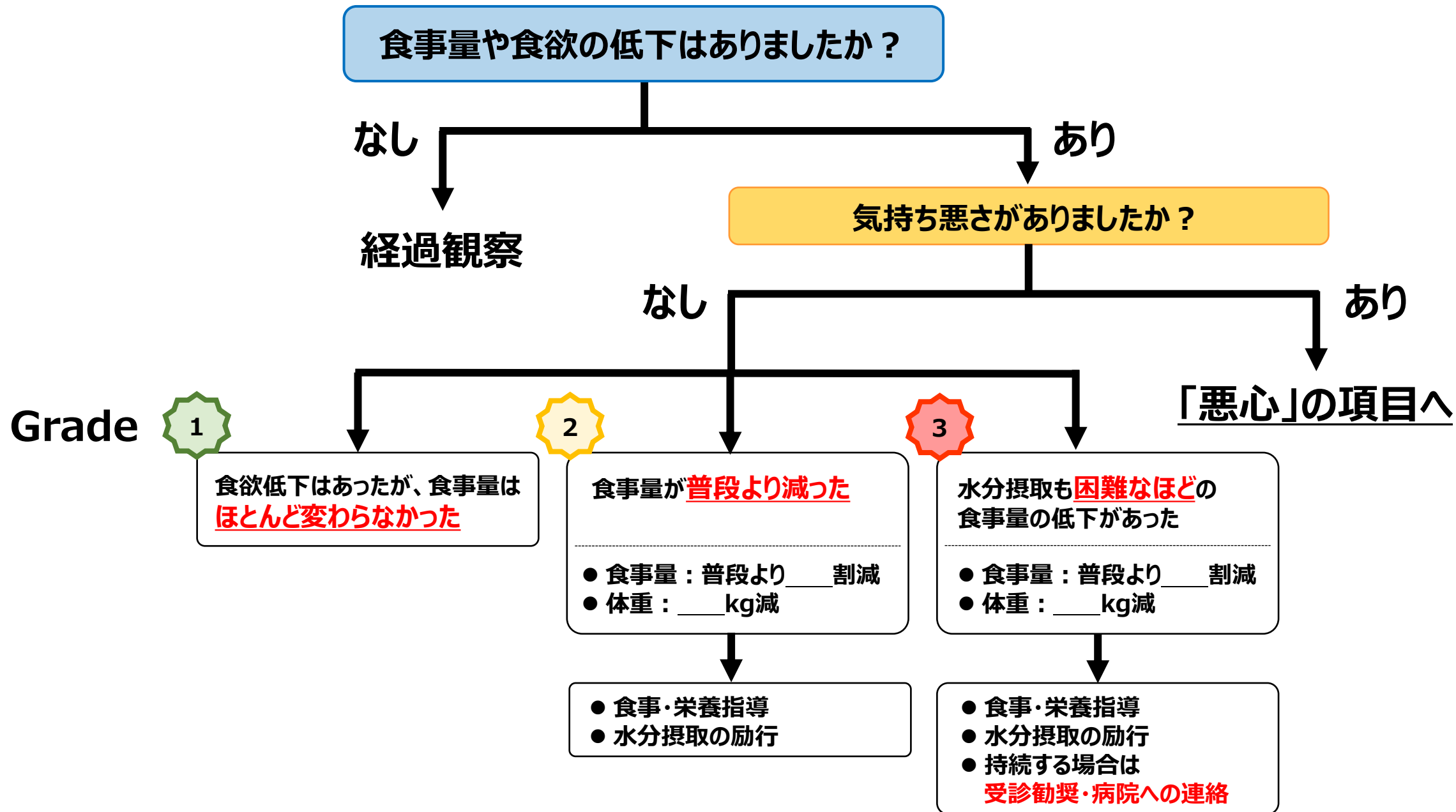
**\*1 身の回り以外の日常生活動作 (instrumental ADL)**

食事の準備、日用品や衣服の買い物、電話の使用、金銭の管理など。

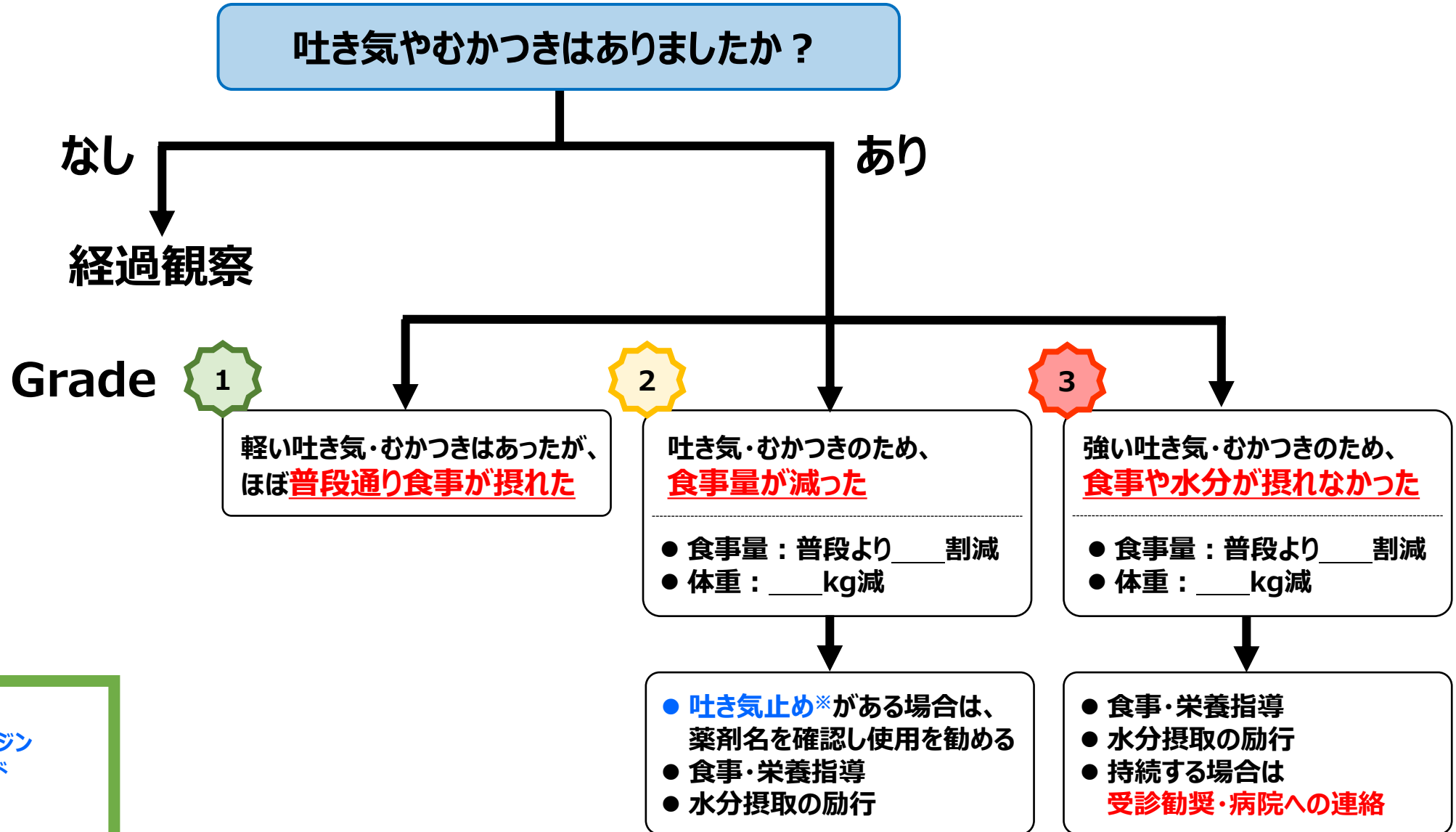
**\*2 身の回りの日常生活動作 (self care ADL)**

入浴、着衣・脱衣、食事の摂取、トイレの使用、薬の内服が可能で、寝たりではない状態。

# □ 食欲不振



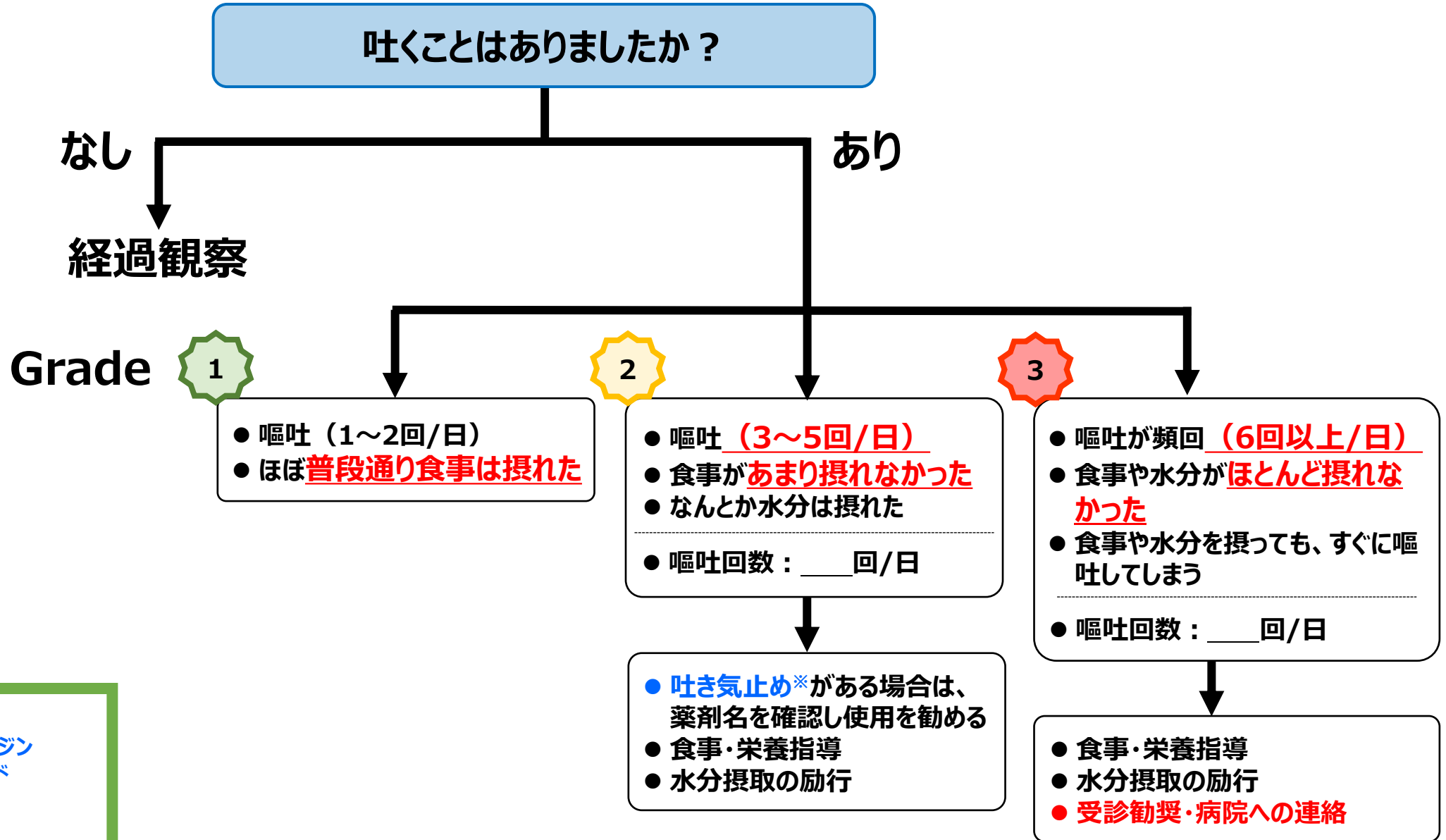
# □ 悪心



※ 吐き気止め

- プロクロルペラジン
- メトクロプラミド
- ドンペリドン
- グラニセトロン
- ラモセトロン など

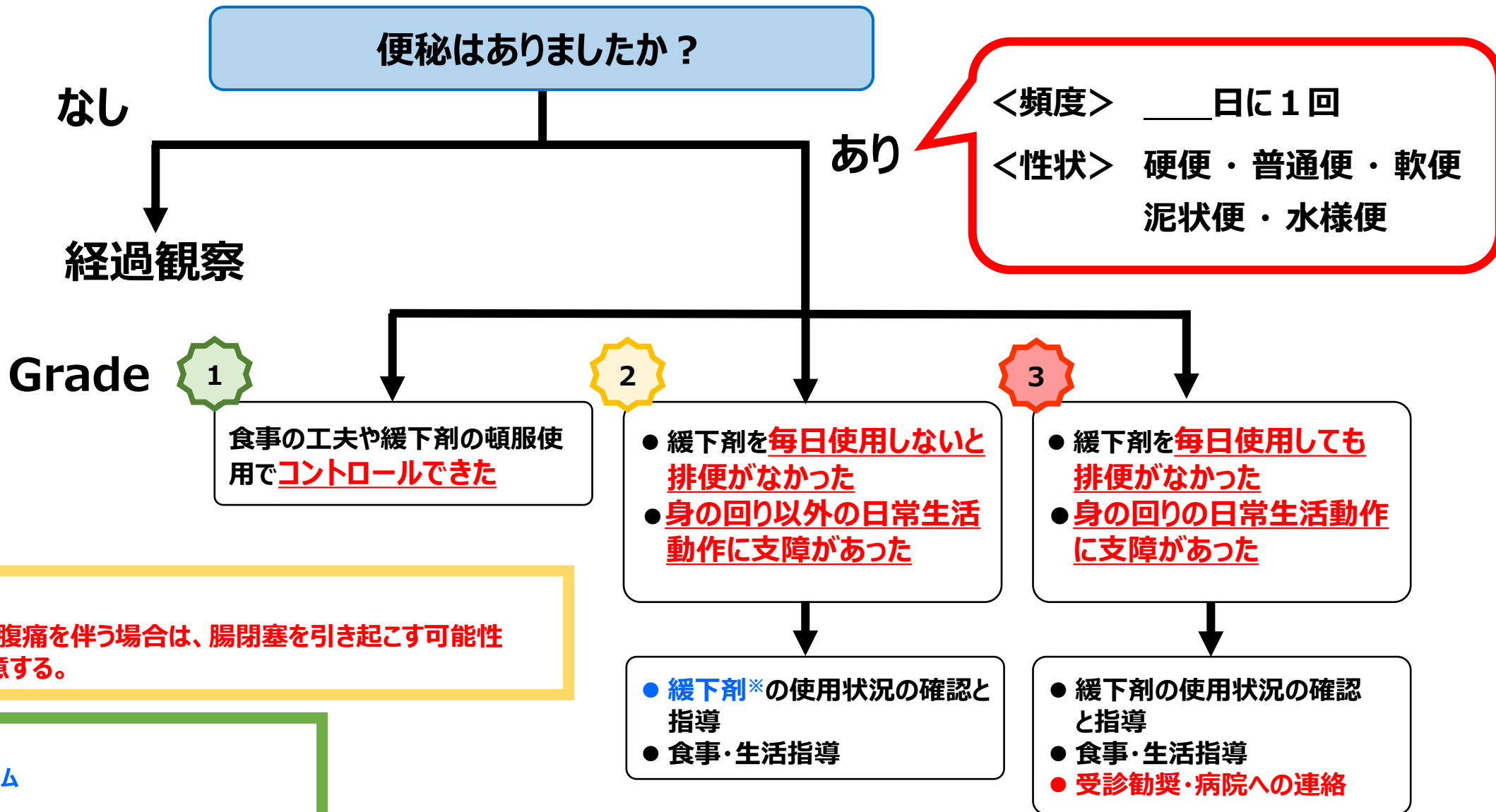
# □ 嘔吐



## ※ 吐き気止め

- プロクロルペラジン
- メトクロプラミド
- ドンペリドン
- グラニセトロン
- ラモセトロン など

# □ 便秘



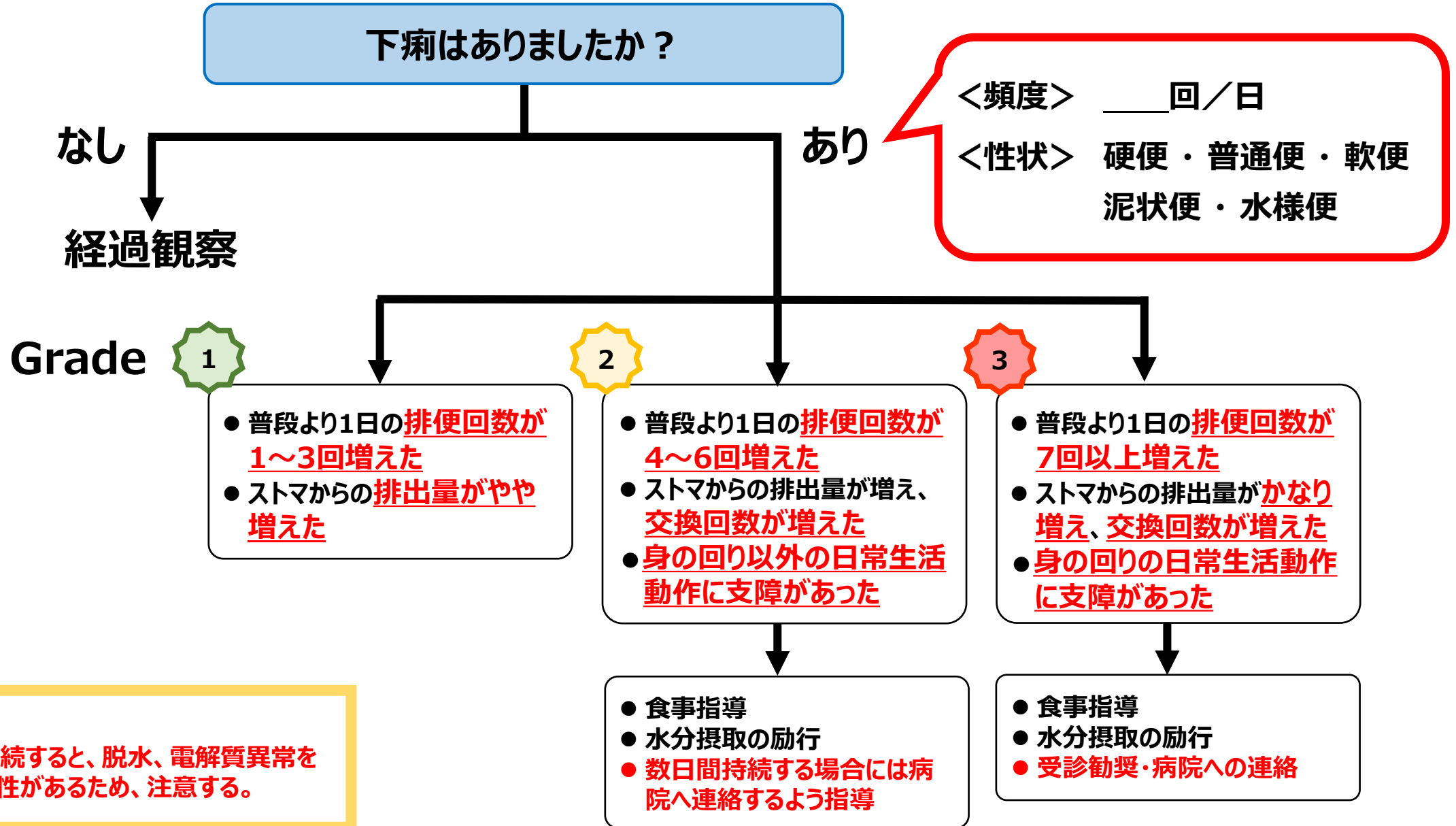
## \*ポイント\*

持続する便秘や腹痛を伴う場合は、腸閉塞を引き起こす可能性があるため、注意する。

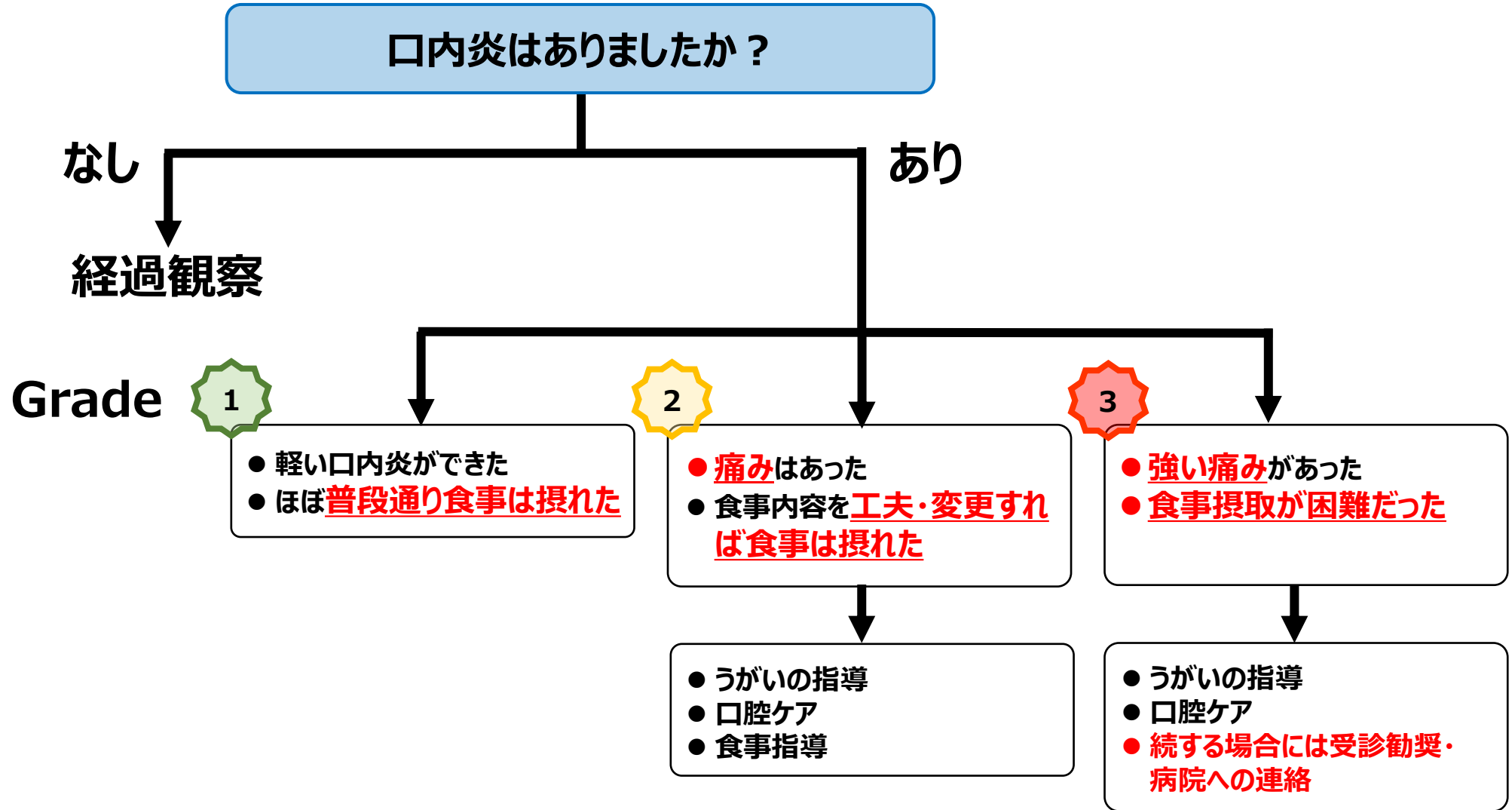
## ※ 緩下剤

- 酸化マグネシウム
- センノシド
- ピコスルファートナトリウム
- ナルデメジン（オピオイド服用時） など

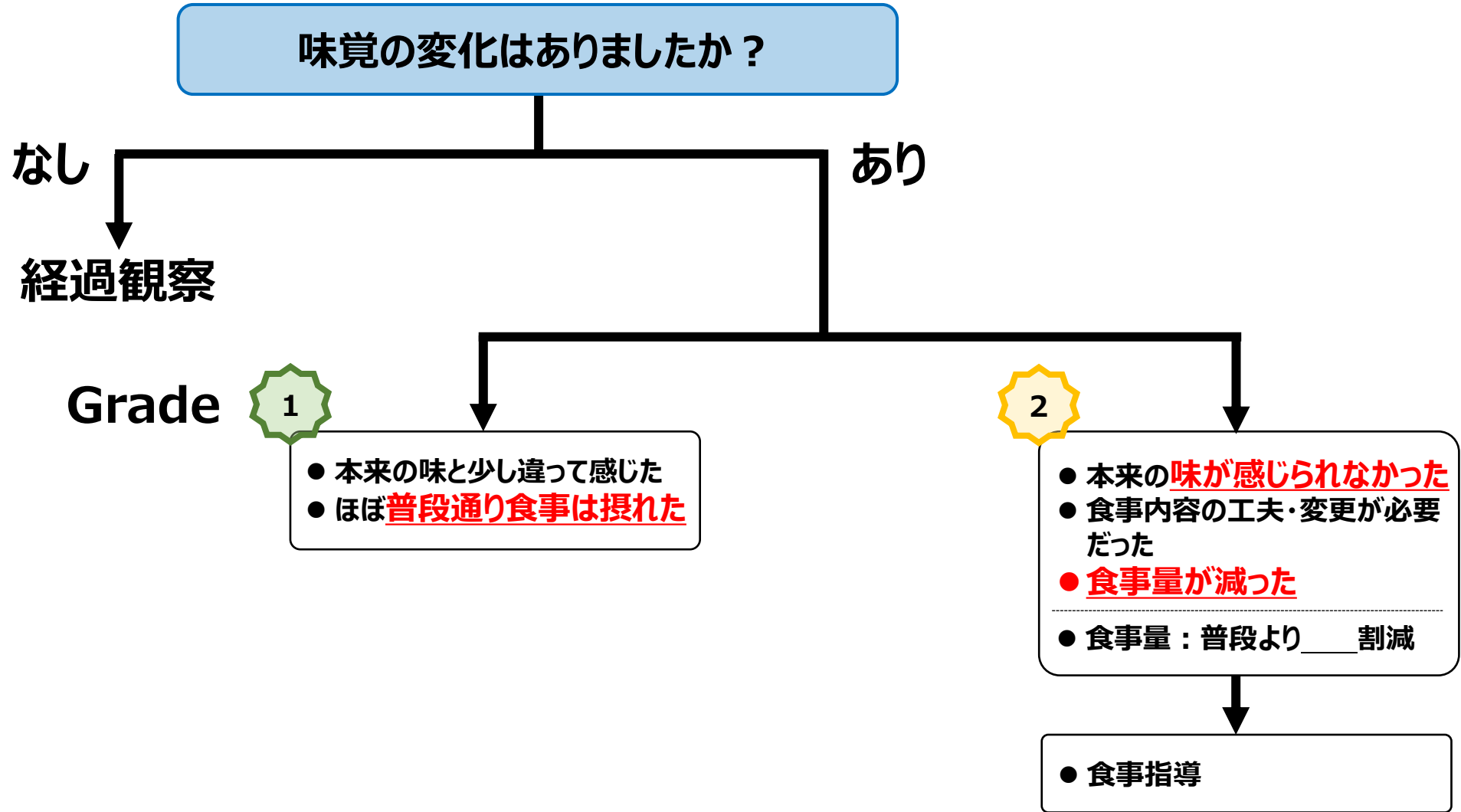
# □ 下痢



# □ 口内炎



# □ 味覚異常





# □ 末梢神経障害

手足のしびれや動かしにくさがありましたか？

なし

経過観察

あり

<部位> 手（指先・手のひら・手首）  
足（指先・手のひら・足首）  
その他（ ）

<性状> ピリピリ・感覚鈍麻・痛み

<症状の度合> NRS :

Grade

1

- 手や足に**違和感**があった
- 普段の**日常生活には支障はなかった**

2

- 手や足に**痺れ**があった
- 症状により、**身の回り以外の日常生活動作に支障があった**（趣味や外出など）

● 生活指導

3

- 手や足に**強い痺れ**があった
- 症状により、**身の回りの日常生活動作に支障があった**（ボタンがかけられない、箸が使えないなど）

- 生活指導
- 症状に応じて**受診勧奨・病院への連絡**

※末梢神経症状の日常生活動作の定義

身の回り以外の日常生活動作 (Grade2)	身の回りの日常生活動作 (Grade3)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 携帯電話でメールを打つ</li> <li>● 重い荷物を持つ</li> <li>● 本や雑誌をめくる</li> <li>● 運動</li> <li>● 楽器の演奏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボタンの開け閉め</li> <li>● 箸を使っての食事</li> <li>● 階段の昇降</li> <li>● 靴を履く</li> <li>● 物をつかむ</li> </ul>

\* 患者の生活スタイルに合わせて、衣食住および労働に直結するかどうかを考える。  
例えば、患者がミュージシャンであった場合、「楽器の演奏」は衣食住および労働に直結すると考える。

# □ 手足症候群

手足の皮膚にヒリヒリ感や腫れ、赤みなどの症状はありましたか？

<部位> 手（指先・手のひら・手首）  
足（指先・手のひら・足首）  
その他（ ）

<性状> ヒリヒリ・腫れ・赤み・亀裂  
水疱・角質化・皮膚剥離

なし

経過観察

あり

Grade

1

- 痛みは**なかった**（知覚過敏、紅斑、チクチク感など）
- **普段の生活に支障はなかった**

- 保湿剤でのケアの継続
- ステロイドの処方があれば使用を指導

2

- **痛みがあった**（腫脹、角化など）
- **身の回り以外の日常生活動作に支障があった**（本をめくる、長距離歩行など）

- 保湿剤およびステロイド使用の指導
- 使用中のステロイドで効果不十分な場合はランクアップの提案
- 生活指導
- **症状に応じて病院への連絡**

3

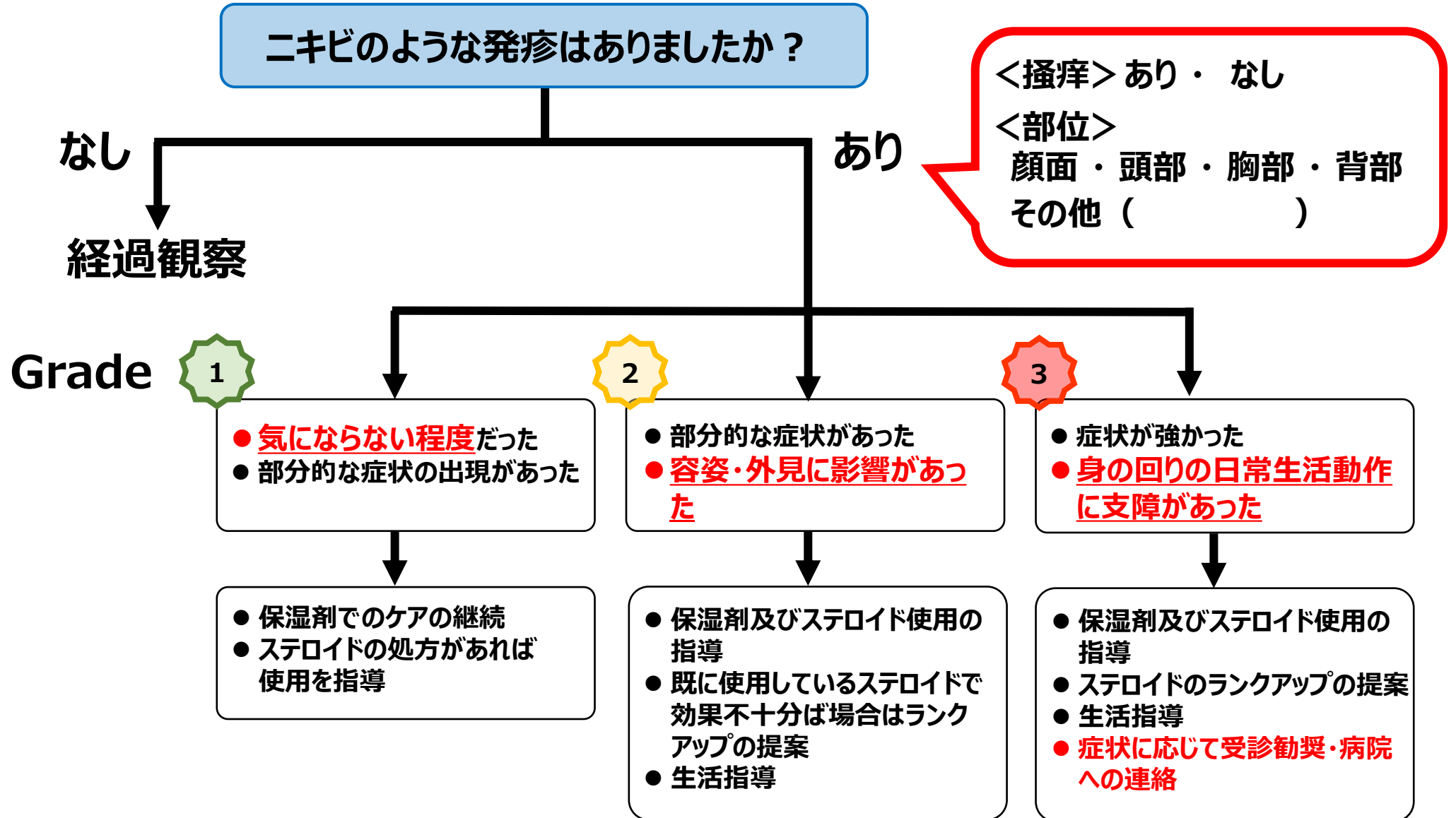
- **強い痛みがあった**（亀裂、潰瘍など）
- **身の回りの日常生活動作に支障があった**（歩行、家事など）

- 保湿剤およびステロイド使用の指導、ステロイドのランクアップの提案
- 生活指導
- **症状に応じて受診勧奨・病院への連絡**

## \*ポイント\*

抗がん剤内服を継続することで症状がさらに悪化することがあり、**早期に休薬が必要な場合もあるため注意する。**

# □ ざ瘡様皮疹



# □ 倦怠感

